

スイートピー新品種 「リップルショコラ」の育成



スイートピーは愛らしい姿と花持ちのよさで人気のある花です。神奈川県は日本のスイートピー栽培発祥の地であり、昔から湘南地域を中心に質の高い花が栽培されています。農業総合研究所では、花の色のバリエーションを広げるなど新しい品種の育成を行っていますが、今年、冬咲き性スイートピー「リップルショコラ」が誕生しました。

「リップルショコラ」は、白地の花びらにチョコレート色の縁取りと吹きかけ模様が入ります。このような模様をもつ品種は、これまで栽培されてきた品種にはない特徴です。吹きかけ模様がチャームポイントの「リップルシリーズ」が「リップルラベンダー」「リップルピーチ」、「リップルショコラ」が揃いました。

「リップルショコラ」の切り花 「リップルショコラ」は白で冬咲き性の当所育成系統と夏咲き性の‘Wiltshire Ripple’を交配し、開花性や花色などの形質に優れたものを選抜して育成しました。8月下旬に播種すると11月下旬頃から収穫できるので神奈川県内の切り花栽培に適しています。春先にも草勢の衰えが少なく栽培期間をとおして安定した長さの切り花が収穫できます。

表1 「リップルショコラ」の主要な特性

品種名	開花※ ¹	旗弁色※ ²	翼弁色※ ²	花径 (mm)	輪数※ ³ (輪)
リップルショコラ	冬咲き性	黄白(暗紫赤) 2501(9710)	黄白(暗紫赤) 2501(9710)	51.8	4.7

※1：開花の習性、※2日本標準植物色票色名（ ）は吹きかけ状斑色、※3：1花房当たりの小花数

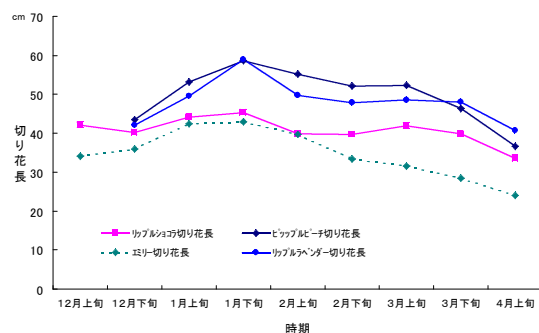


図1 「リップルシリーズ」と「エミリー(比較)」の
時期別切り花長の変化 (2002年11~2003年4月)



図2 「リップルショコラ」の栽培状況